

伝説を追う

匠 瑳 探 訪

181

市内の伝説と昔話は、市ホームページに40余りが紹介されています。旧八日市場市に関しては1955(昭和30)年出版の『八日市場市の沿革と人物』、旧野栄町については1985(昭和60)年刊行の『野栄町史付録』に集録されています。今回、『八日市場市の沿革と人物』に載る「共

興の七不思議」を現地に訪ねました。七不思議は、1921(大正10)年刊行の『匠瑳郡誌』に、「八百比丘と身払い道祖神」(東小笹)、「御門霊神」(長谷)、「かっぱの証文松」(吉崎)の3話に4話加えられました。

したが、長谷・横川の「ぶりそで橋のお姫様」の話など新たに採録できたものもありました。

吉崎、長谷、東小笹などでは江戸時代中期ごろから漁業が盛んで、海事故で命を落とした人もいたと思われ、そうしたことが伝説を生んだのでしよう。

今では証文松は枯れ、大木の空洞に石の地藏尊が納められたとする妙福寺のクスノキの老木も自然災害で倒れたようで見られませんでした。

「亡霊友を呼ぶ」、吉崎の「馬頭観音」、西小笹の「妙福寺境内の立ち木地藏尊」です。これらを50年ほど前にも調べましたが、「かっぱの証文松」と「御門霊神」の他は手掛かりが見つかりませんので

1685(貞享2)年長谷村で村戸数のおよそ6割に当たる56人が処罰された争論があり、首謀者とされた八左衛門の霊を明治になって祭った御門霊神は、きれいに掃除されていました。

縁日の旧暦6月4日は近在からの参詣者も多かったとされ、八左衛門の命日だったのではないかと思わず考えました。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

問 秘書課 広報広聴班

☎ 73・0080



長谷の供養碑